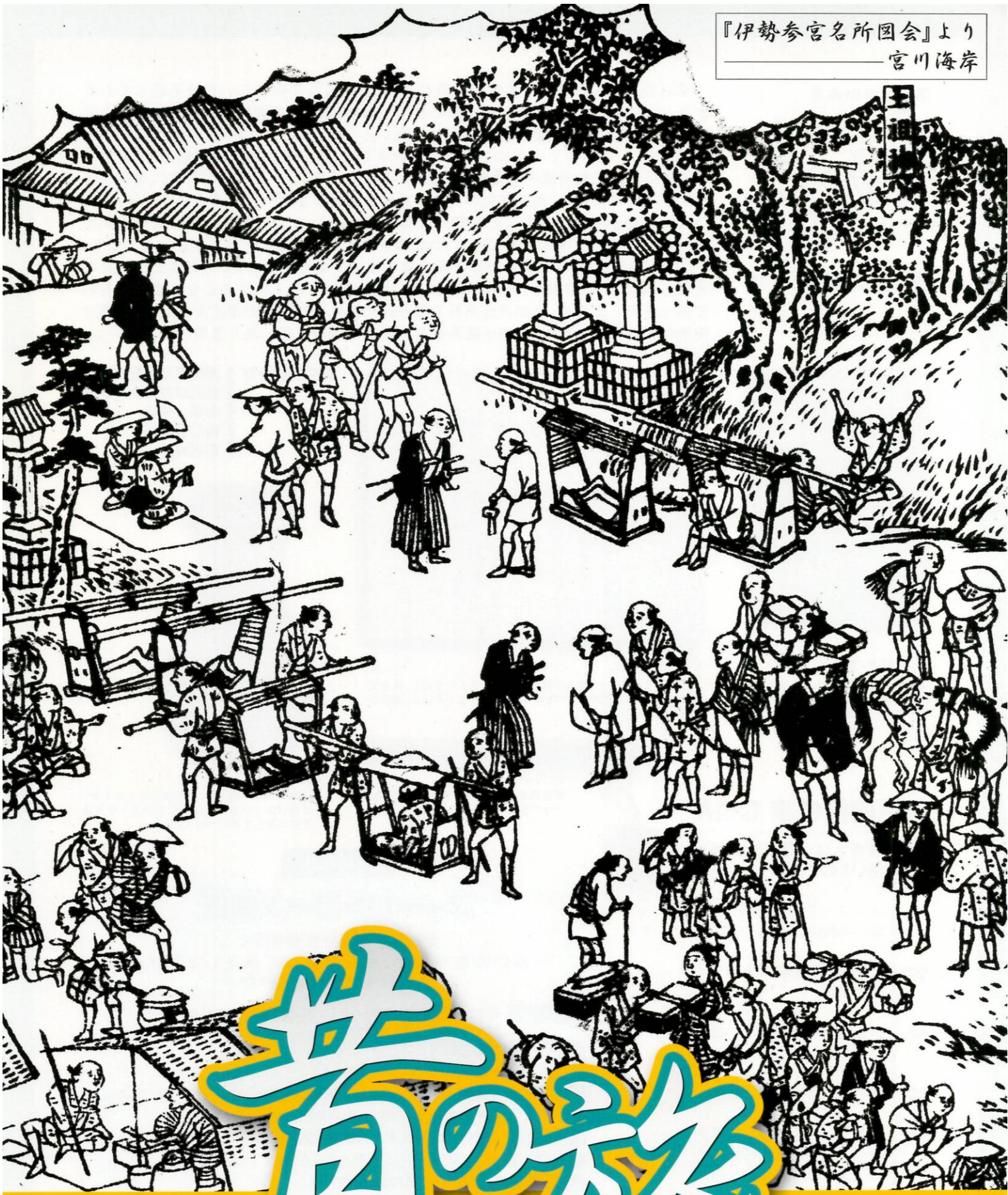


『伊勢参宮名所図会』より
——宮川海岸



昔の旅

第162回企画展

平成22年

4月29日(木)~6月13日(日)

酒田市立資料館

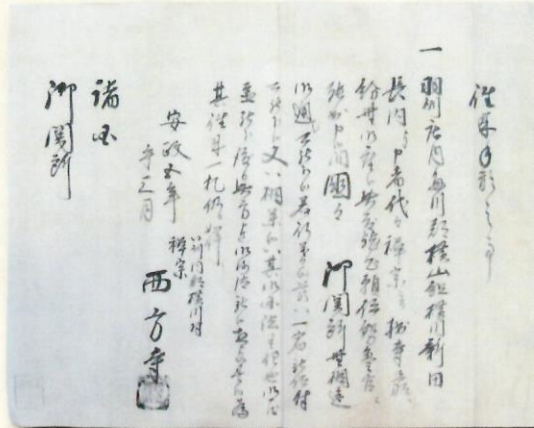
昔の旅

開催にあたって

毎日働くことだけに一生懸命な日々、昨日も今日も変化のない日々を送っているとき、人はこのような状態が長く続くと、ふと日常を離れて旅に出かけようと思うのではないのでしょうか。室町時代末期から続く長い戦いの日々を終え、時代が江戸へと移り変わり、ようやく人々にも平穏が訪れました。大名の参勤交代が始まり、各藩では五街道へ続く脇街道の整備を進め、道するべや常夜灯、一里塚などの旅に便利な目標が整えられました。出版文化の発達で各地の情報が全国へ行き渡るようになると、いつしか自分も旅に出ることを願うようになります。しかし庶民の旅には制約が多く、伊勢参りなどの信仰の旅でなければ、なかなか旅に出ることはできませんでした。50日から100日をこえる長旅は危険を伴うものでありましたが、それ以上に荘厳な神社仏閣、華やかな都会、名所旧跡、こうした所を巡り歩く旅はどんなに楽しいものであったのでしょうか。今回の企画展では長旅の紀行文や当時のガイドブック、旅籠や関所などの街道の様子、旅の小道具からこの時代の旅を振り返ります。



①伊勢参宮名所図会
東海道を通り、伊勢に入る沿道の名所や伊勢参宮を紹介している。伊勢参宮のガイドブックのようなもの。



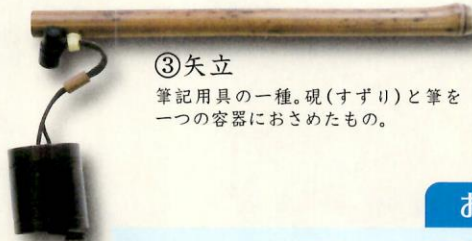
②往来手形
主に菩提寺が発行し、本人が檀家の人であることを記し、身元証明書とした。旅行者の住所・氏名・旅行の目的などを記し、通行の許可を願うもの。

資料提供協力

酒田市立光丘文庫
鶴岡市立郷土資料館
岩田 明氏
樋口信義氏
島田良彦氏



④早道
江戸時代の小銭入れ。大金は懐にしまうが、小銭は直ぐに出せるようにこのような早道を帯に通して腰につけていた。



③矢立
筆記用具の一種。硯(すずり)と筆を一つの容器におさめたもの。

江戸時代の旅 Q&A

- Q1 昔の人は一日でどのくらい歩いたのですか？
- A1 人によってさまざまですが、32~40kmとされています。
- Q2 どのくらいの時間を歩いたのですか？
- A2 大体、8~10時間くらい歩いたとされています。
- Q3 旅の期間はどのくらいですか？
- A3 東北の人が京都・大坂方面へ行く旅行は50日以上の人もあります。かなりの長期旅行です。

お知らせ

フィールドワーク開催

テーマ/観音寺街道を行く

~古い街道を歩き、遥か昔歩いて旅をした先人に思いを寄せてみませんか~

- 日 時** 平成22年5月8日(土) 午前9時~午後4時
※飲み物・昼食をご持参ください。
- 講 師** 須藤良弘氏
- 集合場所** 清亀園前
- コ ー ス** 清亀園~資料館~追分石~芦舟の狂歌碑~大堂神社~一条八幡神社~普門院の石仏~円通寺・飛沢神社 ※バスを使用します。
- 料 金** 100円(フィールドワークが始まる前に資料館見学になります)
- 定 員** 30名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)
- お申し込み** 4月29日から資料館で受付開始

次回企画展

『飛島と鳥海山』
平成22年6月17日(木)
~8月1日(日)

開館時間 午前9時~午後4時30分
休館日 期間中無休
料 金 一般100円小学生~大学生50円
(土・日曜日は小・中学生無料)

酒田市立資料館

酒田市一番町8番16号 TEL 0234-24-6544
e-mail:sakata-city-museum@city.sakata.yamagata.jp